

令和6年度カーボンニュートラル推進本部会議 議事録

1 開催日時

令和7年3月24日（月） 11：45～11：55

2 議事内容

○鈴木副知事

ただ今から、「カーボンニュートラル推進本部会議」を開催します。報告事項について、一括して生活環境部長。

○生活環境部長

資料1をお願いいたします。1ページ、「令和6年度カーボンニュートラル推進に係る取組実績」であります。昨年10月、新たに、福島県カーボンニュートラル条例を制定いたしました。

この条例では、カーボンニュートラルの実現に向け、県民の皆様や事業者の皆様等の理解と共感を得ながら、オール福島で気候変動対策に取り組むため、基本理念や様々な主体の責務などに関する規定を盛り込んでおります。

2ページをお願いします。主な取組実績につきましては、「緩和策」の取組として、資料左下県内企業の脱炭素化を支援するため、今月、金融機関や経済団体等と連携した、「福島県地域脱炭素推進コンソーシアム」を新たに設立いたしました。

資料右上、温室効果ガス排出量の削減によって生み出される環境価値のクレジット化を目指し、「ふくしまJ-クレジットクラブ」を新たに発足することといたしました。

その下、「適応策」では、県独自の熱中症対策である、「ふくしま涼み処」を、市町村や商業施設など、多くの皆さまの御協力の下、設置いたしました。

3ページ以降は本年度の取組の全体像になります。

次に、資料2をお願いいたします。「令和7年度カーボンニュートラル推進に向けた取組の全体像」であります。

緩和策では、関係機関や関係部局との密接な連携の下、省エネ対策の徹底のほか、再生可能エネルギー先駆けの地アクションプランの下での再エ

ネ導入拡大、水素社会の実現などの取組の推進、吸収源対策としての森林整備の推進とともに、適応策である、熱中症対策や農産物の品種開発などに取り組み、「緩和策」と「適応策」を両輪に、取組を推進してまいります。

最後、資料3をお願いいたします。本県の温室効果ガス排出量の最新の数字がまとまりましたので御報告いたします。

2022年度の温室効果ガス 実排出量は、二酸化炭素換算で1,340万1千トンとなり、前年度から3.6%減少しました。また、基準年度である2013年度との比較では、21.3%の減少となり、2022年度の目標である、17%削減を達成したところであります。

これは、省エネ対策の進展に伴いエネルギー消費量が減少するとともに、再エネの導入が進んだことなどが要因であると分析しております。

しかしながら、2030年度やそれ以降の目標達成に向けては、総合的かつ計画的な取組の更なる推進が重要であると考えております。

説明は以上です。

○鈴木副知事

ただいまの説明に関連して、商工労働部長。

○商工労働部長

商工労働部といたしましては、カーボンニュートラルの推進に向けた「緩和策」の取組として、令和7年度新たに、圧縮水素運搬トレーラーや工場等における水素利用機器の導入費、水素の配送費に対する補助を行うなど、再生可能エネルギー由来の水素を「はこぶ」、「つかう」取組を支援し、カーボンニュートラル実現の鍵となる水素の利活用拡大を推進してまいります。

また、県内中小企業等の事業活動における環境負荷の低減を目指し、引き続き、LED照明の更新に対する補助や、制度資金による太陽光発電などの設備導入資金の調達支援を行うなど、カーボンニュートラルの推進を図ってまいります。

○鈴木副知事

次に、農林水産部長。

○農林水産部長

農林水産部といたしましては、カーボンニュートラルの推進に向けた「適応策」の取組として、これまで高温下においても品質や収量が低下しにく

い水稻の品種や施肥技術の開発など、地球温暖化に対応した農作物の試験研究を進めてきたところです。

引き続き、食糧の安定供給に向け、高温に強い米や需要期に出荷できる果樹のオリジナル品種、病虫害の発生の変化に対応した防除技術の開発、環境保全型農業の面的拡大への支援などに取り組んでまいります。

○鈴木副知事

他に何かありますか。なければ最後、知事からお願いします。

○内堀知事

令和6年度は、福島県カーボンニュートラル条例の制定を始め、金融機関や経済団体等と連携した県内企業の脱炭素化に向けた体制づくりや、市町村や商業施設等の協力による、本県独自の熱中症対策の取組など、オールふくしまでの気候変動対策が進んだ年となりました。

最新の集計結果である2022年度において、温室効果ガス排出量の目標は達成しましたが、本県の豊かな環境を将来世代に引き継いでいくためには、これからもカーボンニュートラルの実現に向けた歩みを止めるわけにはいきません。

新年度においても、県民や事業者の皆さんの理解と共感を得ながら、緩和策と適応策を両輪として、各部局連携の下、気候変動対策を進めてください。

○鈴木副知事

以上で、「カーボンニュートラル推進本部会議」を閉じます。